

### エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電

一事業概要と今後の取り組み一



### 日本光電工業株式会社

(証券コード:6849)

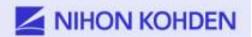
2009年12月13日

執行役員 経営企画室長 広瀬文男



### 本日の内容

- 事業概要
- 2 将来への取り組み
  - •技術開発戦略
  - •商品戦略
  - •海外戦略
- 3 まとめ



# 会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

呼称:日本光電

1951年8月 立

東京都新宿区西落合1-31-4

75億4,400万円 (2009年9月30日現在)

連結1,091億円 (2009年3月期)

3,570名 [日本光電グループ30社]

(2009年9月30日現在)

富岡(群馬県)、川本(埼玉県)、

上海(中国)、フィレンツェ(イタリア)、スーラト(インド)

設

本 社

資 本 金

売上高

従業員数

生産拠点

発行済株式総数: 45,765千株

時価総額: 725億円 (2009年12月4日株価 1,586円)

単元株式数: 100株

証券コード: 6849 (東証1部)



### 経営理念と経営ビジョン

#### 経営理念

病魔の克服と健康増進に 先端技術で挑戦することにより 世界に貢献すると共に 社員の豊かな生活を創造する

### 経営ビジョン

医用電子機器メーカとしての グローバルブランドの確立



### 品質方針

~ME(医用電子)機器は、人命に直結するもの~

### 品質方針

日本光電の製品を買ってよかったと お客様にのちのちまで 満足していただける状態を保つこと



### 創業時から受け継ぐ想い



「病を癒す・・それは主義や国境を越えるもの。 どんなに情熱をそそぎ込んでも悔いはない」

創業者 <sub>医学博士</sub> 荻野義夫



わずか12名で発足

### 「『これは私達が開発したんだ』

と世界に向かって大きな声で言えるような機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう 側にある患者さんである。

患者さんに優しい機器を。」



### "技術の日本光電"①

#### 脳波計(EEG\*)の世界トップメーカー

※ EEG: Electroencephalographs

1951年 1979年 1993年 2004年

#### 世界初

全交流直記 式脳波装置



#### 世界初

マイコン脳波計



### 世界初

Windowsを 採用した 脳波計 無線LANを 利用した脳波計 「AirEEG」



脳波検査・・・・てんかん、脳腫瘍、けがによる脳障害(脳挫傷)、睡眠障害などを診断



# "技術の日本光電"②

#### 当社のコア技術「センサ技術」

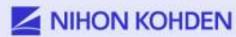
「患者さんに苦痛や負担を与えない」、「より早く」「より正確な」生体情報(バイタルサイン)の計測を目指して開発しています

#### 1974年 世界で初めて「パルスオキシメータ」の原理を開発

「パルスオキシメータ」は、採血することなく、指にセンサを着けるだけで、 正常な呼吸により血液中に酸素が十 分取り込まれているか、を測定できる 機器です



医療現場で世界標準として 幅広く使用されています



# 医療の流れに沿ってトータルサポート

#### 医療の流れ

#### 日本光電の商品ラインナップ









**AED** 

携帯型救急モニタ











ポリグラフ



血球計数器

手術・治療

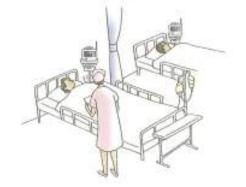


ベッドサイドモニタ









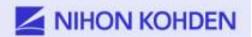
療養・リハビリ



セントラルモニタ



ベッドサイドモニタ



### 国内唯一のAEDメーカー

#### AEDの普及と啓蒙に貢献

AEDは、2004年7月から一般市 民の使用が認められ、全国各地に 普及



AED(自動体外式除細動器)

Automated External Defibrillator



#### 東京マラソンをサポート



#### 全国でAED講習会を実施





### 商品群別売上構成

#### 5その他

自動血球計数器、システム商品など



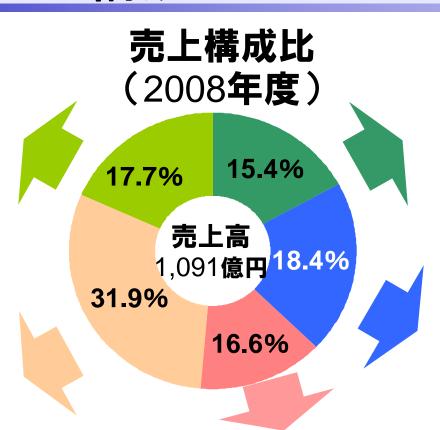


#### 4医療用品

医療機器に使用する 消耗品(記録紙·電極・ 試薬・カテーテル)など







#### ③治療機器

除細動器、AED、心臓ペースメーカ、 人工呼吸器など

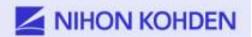


#### 1 生体計測機器 脳波計、心電計、 ポリグラフなど



#### ② 生体情報モニタ





# 当社のビジネスモデル

- •製品納入後も、関連の消耗品が安定した収益基盤に
- •設置台数で高いシェアを確保することが、成長のキーポイント

新製品開発 ↓ 製品販売 安定した収益基盤

保守サービス

消耗品

製品寿命

(例)



ベッドサイドモニタ

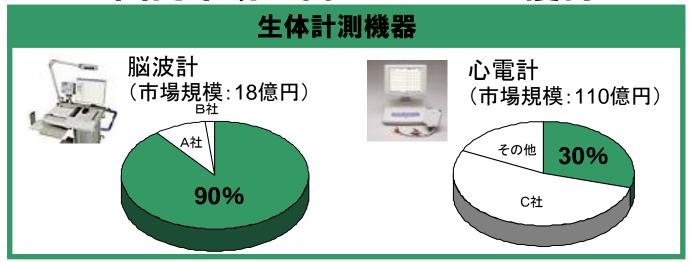


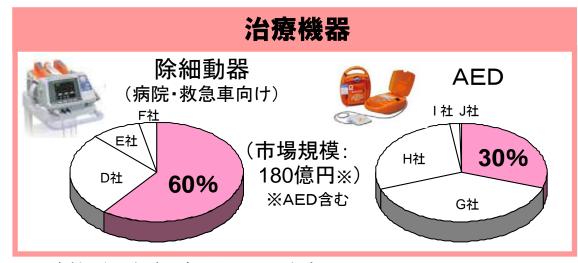
患者さんが装着する電極・センサ類

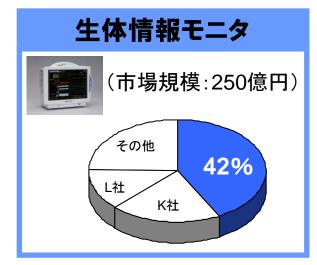


### 主要商品の国内シェア

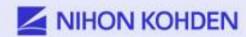
#### 国内市場で高いシェアを獲得







資料は矢野経済研究所調べ(2007年度) シェアは生体情報モニタのみ金額ベース。他は全て台数ベース。



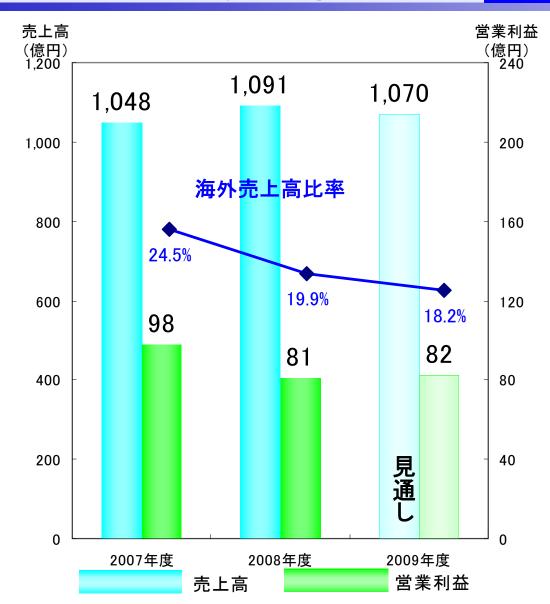
# 業績推移





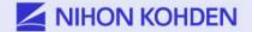
### 3ヵ年中期経営計画





世界的な景気後退が医療機器市場にも波及

経営環境の変化を 踏まえ、全社を挙 げて収益改善策を 推進中



# 将来への取り組み

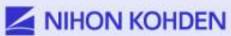
- •技術開発戦略
- •商品戦略
- -海外戦略



# 技術開発戦略

# 医療安全・業務効率の改善に寄与する 高付加価値商品をタイムリーに提供

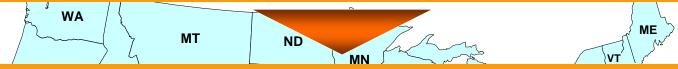
- •医療安全に寄与する商品の提供
- •病院のIT化対応強化



# 米国における医療安全の取り組み

1999年

米国医学研究所が「米国では、毎年44,000人~98,000人 が医療ミスで死亡している」と公表



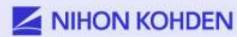
2004年12月~2006年6月

医療の質改善研究所(IHI)主導の「10万人の命を救えキャンペーン」が展開され、全米の約5,500ある病院のうち3,100の病院が参加。入院中の死亡数を大幅に減らすことに成功。



2006年12月~2008年12月

年間500万件の医療ミスを減らそうという「500万人の命を 守るキャンペーン」に発展



# 日本における医療安全の取り組み

#### 医療機関では医療安全・医療事故防止が急務



「医療アラーム聞き逃し事故多発」 「医療の安全 道半ば」 (最近の新聞報道より)

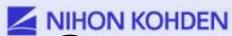


- ・医療の質・安全学会などが呼びかけ、 全国の病院が自主的に参加
- ·医療安全対策の実施と普及に取り組み、



医療事故の低減、入院死亡者数の減少を目指す

日本光電は医療安全全国共同行動を応援しています



# 医療安全に寄与する商品の提供①

#### 不整脈解析精度の向上



不整脈検出率の向上と

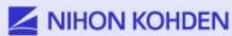
"鳴り過ぎない"アラームを実現

電極のズレや外来雑音の混入などによる

誤アラームを大幅に低減







# 医療安全に寄与する商品の提供②

### CO2は呼吸の異常をいち早くキャッチ



CO<sub>2</sub>測定は、人工呼吸器使用時などの呼吸状態の異常をいち早くキャッチするので、より早期段階での処置が可能

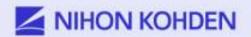
### 当社独自のCO2センサ

# 業界初!!鼻呼吸時も口呼吸時もCO₂が測れるメインストリーム式センサ



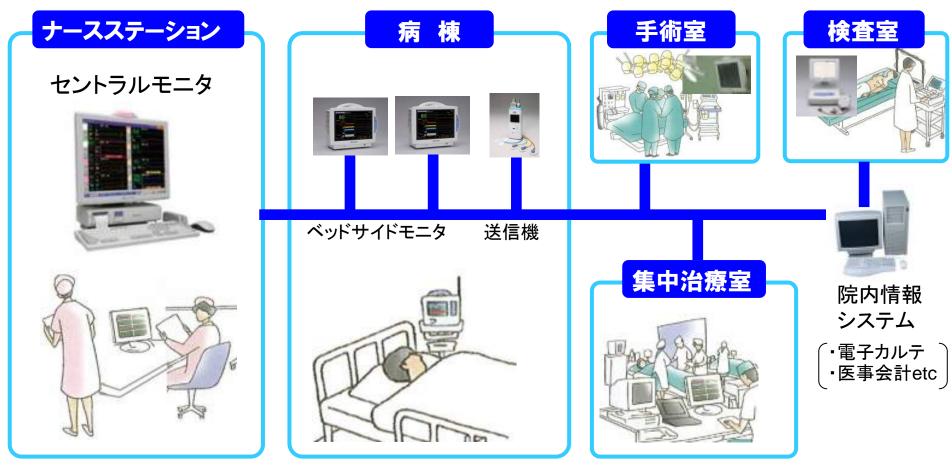
#### ·鼻・口両方のCO₂を検出可能

・センサは約10gの超小型・軽量タイプ。 鼻に装着しても患者さんの負担になり ません



# 病院のIT化対応強化

### 病院の業務効率化・安全確保・サービス向上に 貢献するシステムを提供





# 商品戦略

### 自社の強みを生かせる分野への注力

- •生体情報モニタ事業の拡大
- •AED事業の強化



### 生体情報モニタ事業の拡大

(国内外)2008年発売商品の拡販(国内外)新商品モニタの投入

#### 下期発売予定

コストパフォーマンスに 優れた普及型モニタ



バイタルサインモニタ PVM-2701

#### 12月発売

カラー液晶で心電図波形 の確認が可能に。 メモリ機能付き。





ベッドサイドモニタ BSM-6000シリース<sup>\*</sup> 2008年11月発売





セントラルモニタ CNS-9601 2008年4月発売

### 医療現場のニーズに合わせ、 安全性と使いやすさを追求



ディスプレイ付送信機 ZS-530P



医用テレメータ WEP-5200シリース・ 2008年10月発売







**Prefense** 2008年5月米国発売

ディスプレイ付送信機 ZM-540P 2009年8月米国発売



### AED事業の強化

#### 国産初のAED

AED-2100

を今年7月から国内販売開始



#### 市場のニーズに合った新機能搭載

- ◆パッドの使用期限をアラームでお知らせ
- ◆成人⇔小児は、本体のスイッチで切替
- ◆Bluetooth搭載(救助データが通信可能に)

#### AED監視シス テムの開発

2011年3月期上期発売予定

AED本体に搭載のBluetooth※を活用し、 安全運用のための監視システムを構築

※AED-2100のみ

自社製AEDの 海外展開 韓国:ブランド認知を目指し販促活動

欧州: 医療機関向け販売スタート





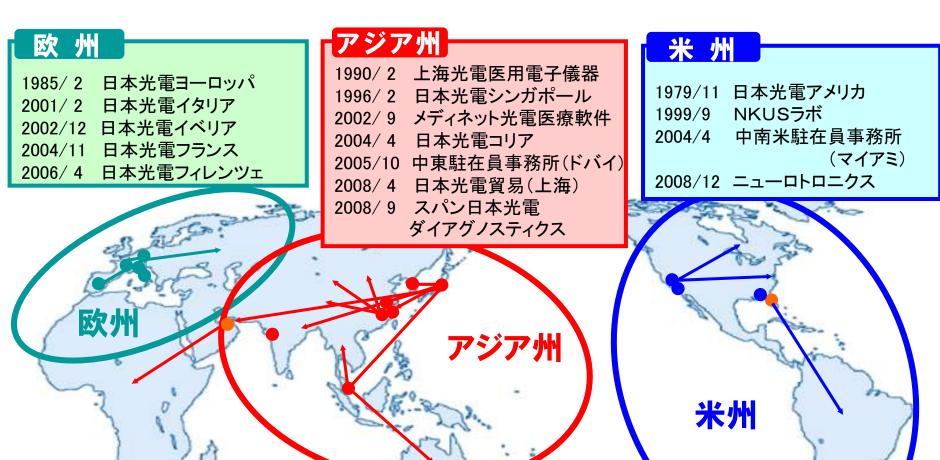
# 海外戦略

- ・組織体制の強化
- •米国事業の推進
- •中国事業の強化



### 組織体制の強化

#### グローバルブランドの確立を目指し、海外拠点を拡充





### 米国事業の推進①

#### 医療安全に寄与する新しいソリューションの提供

"Defensive Monitoring"

(ICUやCCUでの重症患者に対するケアに加え)

一般病棟での医療ミス等を予防する為のモニタリングを提案

#### 病 棟

NTX

心電図、呼吸、SpO2の他、世界で唯一、非観血血圧の測定・送信が可能





送信機のデータを無線で送信

#### ナースステーション

**Prefense** 

40台のNTXと連携し、効率 的な看護が可能な、新しい コンセプトの集中モニタリン グシステム







# 米国事業の推進②

#### 高品質の製品ときめ細かいサービスで差別化





### 中国事業の強化

2009年10月

(本社)中国統括本部を新設

中国事業の拡大

生産

上 海 光 電

開発

メディネット光電

販売

日本光電貿易(上海)

順次、移管

生産移管の促進、現地化

現在

中国市場向け ローエンド心電計 中心



2010年3月期中

- •血球計数器 1機種
- ・心電計 2機種



2011年3月期中

試薬生産開始

生体情報モニタ 1機種

2012年3月期~

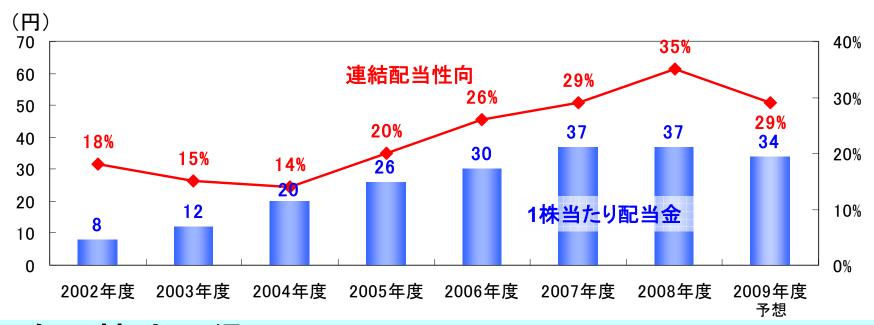
中国拠点でのグローバル市場向け普及機の開発・生産



### 株主様への還元

#### 配当について

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、 長期に亘って安定的な配当を継続 当面の目安:連結配当性向30%



#### 自己株式取得について

取得実績 2006年度: 株式数 285千株 総額 733百万円

2007年度: 株式数 100千株 総額 252百万円

2009年9月末現在の自己株式保有:1,831千株(持株比率:4.0%)



### まとめ

# エレクトロニクスで病魔に挑戦する 日本光電

- •基盤技術の強化
- •世界が認める品質の確保
- •医療安全/効率化に寄与する商品の提供
- •グローバルブランドの確立



### ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。





#### 〈IR情報〉

http://www.nihonkohden.co.jp/ir/



#### 〈AED情報〉

http://www.nihonkohden.co.jp/aed/index.html

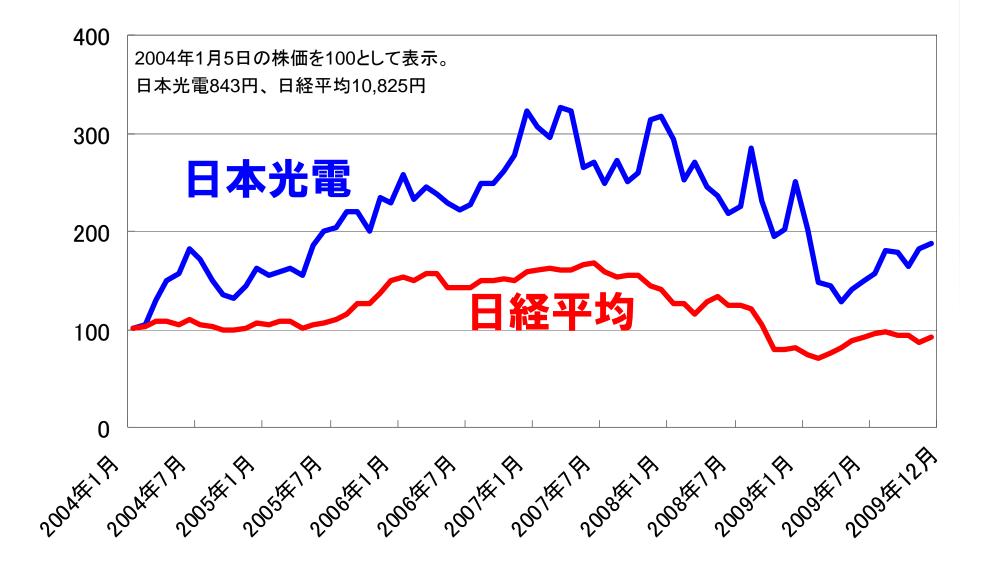


#### 〈テレビ・映画で活躍する日本光電製品〉 http://www.nihonkohden.co.jp/know/media.html





# 株価推移





この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく 異なる場合がありますことをご承知おきください。

> 日本光電工業株式会社 経営企画室 TEL:03-5996-8000(代表)